

【宝泉寺-諏訪神社】 海龍山観音院宝泉寺 (真言宗)

諏訪神社は宝泉寺「南の寺」と境内を接し、神社の鐘楼、鳥居が寺の境内にあり、神仏混交時代の名残りを残す。本堂前と本堂左脇に多数の石仏が集められている。村の中心に、鎌倉道との十字路に寺があり、「四ツ辻のお堂」から転じて辻堂となったといわれる。

【宝珠寺】 八松山明王院宝珠寺 (真言宗)

「北の寺」と呼ばれ寛文6年(1666)の庚申供養塔は、藤沢市指定文化財。

【聶耳記念碑】

聶耳(ニエール)(1912年~1935)は中国国歌「義勇軍行進曲」の作曲者。鶴沼の地を愛しこの地で亡くなる。中国音楽界の発展に多大な功績を残す。昭和29年彼を記念し碑を建立。

【片瀬旧道】

昔、江の島道と言われ、遊行寺から江の島へ至る、江の島弁財天に参詣する道。江戸時代、弁財天信仰が盛んとなり、箱根関所を越えずに訪れることができ、多くの参詣客で賑わった。

【龍口寺】

この地はかつては刑場跡で、文永8年(1271)日蓮聖人が斬首を免れた(龍ノ口法難)地に創建された寺。延元2年(1337)日法上人が一堂を建てたのが寺のはじまりと伝えられ、境内には五重の塔・鐘楼・仏舎利塔などが建つ。

【常立寺】(日蓮宗)

枝垂れ梅の名所。山門をくぐると右側に六地藏、左側に北条時宗が蒙古の国使5人を処刑、埋葬した。「元使塚」(げんしずか)があり5つの五輪塔と大きな碑が立つ。

【本蓮寺】(日蓮宗)

推古3年(595)に高麗の掃化僧「恵慈(えじ)」の弟子「義玄上人」が開山。常立寺と同様、1184年頼朝が再興して「弥陀山大御堂源立寿寺」と言い、真言宗から、日蓮が泊まったのがもとで改宗。

【諏訪神社】

諏訪神社で、上社、下社を備えているのは信濃の諏訪大社と片瀬の諏訪神社のみといわれている。創立は養老7年(723)と伝えられ、上社が片瀬旧道に面している。